

News Release

令和6年1月4日

地域交流部

JICA青年海外協力隊が出発前に表敬訪問されます

概要

唐津市から岩本 海成（いわもと かいせい）さん、山口 万葉（やまぐち まよ）さんがJICA青年海外協力隊員として出発されるにあたり、表敬訪問されます。派遣される国はコロンビアとボリビアで、今月から2026年1月までの2年間です。現地では岩本さんがバドミントンの指導、山口さんが青少年育成の支援にあたられます。

1 日時

1月11日（木）11：00から

2 場所

市長公室応接室

3 参加者・対応者

（参加者）

JICA青年海外協力隊員 岩本 海成 氏

JICA青年海外協力隊員 山口 万葉 氏

JICA九州市民参加協力課長 齋藤 克義（さいとう かつよし）氏

JICA九州国際協力推進員 石川 洸（いしかわ こう）氏

佐賀県協力隊を育てる会会長 小原 嘉文（こはら よしふみ）氏

（対応者）

唐津市副市長 脇山 行人

地域交流部長 江頭 雅彦 ほか

4 概要など

別紙のとおり

（本件の問い合わせ先）

地域交流部 地域づくり課

国際交流係 担当：岩本・平河

電話：直通53-7102（内線1661）

2023.1.11 JICA 青年海外協力隊の出発前表敬訪問（岩本 海成）

○JICA 青年海外協力隊要請理由

配属先のコロンビアのリサルダダ県では、約 10 年前からバドミントンが導入され、2021 年にはバドミントンが同県内で 5 番目に重要なスポーツとなっている。現在は、国内試合や国際試合に参加する選手も育てているものの、より戦略的な練習を重ねて、競技者のレベルを上げたいという希望から JICA 青年海外協力隊の要請となった。協力隊員には、日本での競技経験を生かした練習方法などを紹介することなどが求められている。県選抜の選手、強化選手、競技を始めたばかりの子どもたちへの競技指導のほか、地域の学校訪問や、イベントなどでバドミントンの普及活動なども行っている。

○予定活動内容

以下のグループに対して、バドミントンの指導を行う。

① 8 人（男女 4 人ずつ、年齢 14～22 歳）の県選抜選手

月～金 7：30～10：30、17：00～19：00、土 13：00～16：00

② 15 人（男子 4 人、女子 11 人、10～15 歳）の強化選手

月～金 17：00～19：00

③ 競技を始めたばかりの子どもたち 20 人（男女 10 人ずつ、7～10 歳）

土 13：00～16：00

国内の試合は、県選抜強化選手を対象に 2 か月に 1 回ずつ、国際試合は、年に 3～4 回の実施。

○表敬訪問流れ

- ・出席者紹介
- ・隊員プロフィール紹介
- ・隊員から一言
- ・脇山行人副市長から激励の言葉
- ・歓談
- ・記念撮影

2023.1.11 JICA 青年海外協力隊の出発前表敬訪問（山口 万葉）

○JICA 青年海外協力隊要請理由

配属先はボリビアのコチャバン市の事務所で、主な活動内容は、性的暴行や虐待などを受けた被害者らの早期発見や保護、その後の心理的ケアや裁判所への訴訟手続き支援、安全確保のための一時保護施設の運営、社会生活を営むための支援活動などである。2019年3月1日に在ボリビア日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力により保護施設が供与された。設立当初から被害者支援のプログラムを実施してきたが、同施設の開設に伴い、さらに充実した支援活動を実施したいという配属先長の強い希望により、同施設内および同団体の活動における健全な青少年育成を目的とし、本要請に至った。現在は料理、絵画、工作、PC操作など、多岐にわたる支援プログラムを提供している。

○予定活動内容

配属先同僚とともに、以下の活動を行う。

- ① 入所者のこれまでの生活背景を把握し、各人の希望を聴取しつつ、各人の特性に合った支援プログラムを行う。
- ② 入所者間でグループを作り、講座やレクレーションなどを行う。
- ③ 人権教育に関する教育づくりおよび講座の支援を行う。

※スポーツや手芸、絵画、工作、映画鑑賞など、利用者の希望に合わせた活動の内容を検討する。

○表敬訪問流れ

- ・出席者紹介
- ・隊員プロフィール紹介
- ・隊員から一言
- ・脇山行人副市長から激励の言葉
- ・歓談
- ・記念撮影